

歩いて楽しいまちづくり推進に向けた将来ビジョンの検討、推進に係る意見交換会及び検討会議の進捗について（報告）

米子駅周辺活性化連携会議（R5.11.27）

- 連携会議（R5.11.27）での確認事項：四者の担当者とUR提案を参考に意見交換を進める
 - ⇒ 商工会議所会議所青年部、市、URら有志で実施していた仮称：妄想会議のメンバーに少し間口を広げて四者連携会議メンバーに改めて声掛けして加わってもらう

（連携会議での課題意識）

- ・整備されたインフラを使ってまちをどう変えていくかの議論に重点をシフト
- ・歩くことと公共交通を使うことと車と組合せ
- ・参加者、開催時期、方法をより柔軟に議論できる会議体
- ・特徴ある鉄道と一緒に考える
- ・目指しているものが分かるものを作る

意見交換会（R5.12.7、R6.1.25、R6.3.6）

- **第1回意見交換会（R5.12.7）**
 - ・歩いて楽しいまちづくり推進に向けた検討体制案、未来ビジョン・推進体制の事例等（課題）参加者をさらに広げるには議論が必要、四者連携との関係性が十分整理されていない、検討を進めることは異論なしだが具体内容についてまだ理解が及んでいない
 - （意見）公共交通と車との関係、ターゲット、情報発信、プロセスと成果の実感、行政姿勢への指摘など
- **第2回意見交換会（R6.1.25）**
 - ・歩いて楽しいまちづくりの将来イメージを、公共交通と車との関係、駅や停留所からの界隈性、まちを楽しむということの実感、などから意見交換しマップを検討
 - ・既存の多くの関係制度、地域資源マップなどがあり、“あるものを便利に使いたおす”をまず考える
- **第3回意見交換会（R6.3.6）**
 - ・歩いて楽しいまちづくり推進 検討方針案の意見交換
 - （課題）短期的なアクションが必要、中長期的なビジョン策定・推進体制（プラットフォーム）構築も必要、
 - （意見）短期のアクションを継続しながら中長期の検討も進めていくのがよい
 - 検討会議は4者+aのメンバーへ。4者連携会議はこれを応援する形がよいのでは。3車線化テーマの社会実験、各種年間イベントの洗い出し、ロードウォーキング企画

□ 第1回検討会議（R6.4.25）

未来ビジョン（案）をベースに、

歩いて楽しいまち・米子の未来の日常風景を想定した短期的な“アクション”を考え実行する（成果）

- ・ よなご公共交通ふれあいフェスタ（R6年度は11月10日開催）と同日にアクション実施
- ・ “駅前通り周辺公共空間利活用に関する実証実験”も同日を含む期間とできればよい
- ・ 3班に分けてアクション候補のアイデア

□ 第2回検討会議（R6.6.13）

第1回成果をベースに、アクション候補を具体化するポイントとして、

- ✓ 一過性のイベントではなく、日常のバリューアップ、持続的な賑わいにつながる
- ✓ だれが、いつ、どこで、なにを、どのように、その活動が米子のまちなかで数時間～1日の歩いて楽しいにつながるを意識して具体アクションを議論（成果）

- ・ 3班に分けてアクション候補のアイデア（次々頁下段）



□ 第3回検討会議（R6.7.11（予定））

第2回成果をさらに具体化。

実行アクションの絞り込み、具体の動きなど具体化を議論

→

11/10

歩いて楽しいまち・米子の未来風景

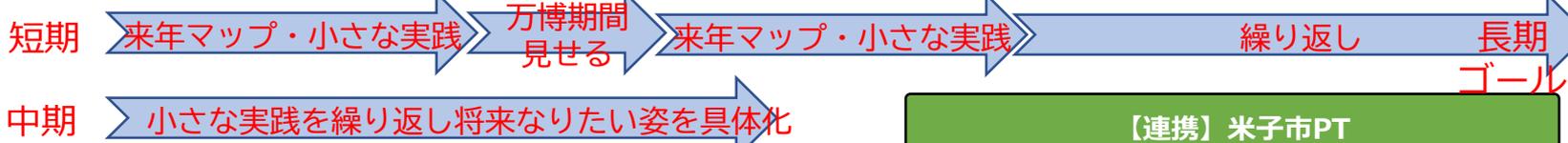
～これまで

R 6 年度

R 7 年度

R 8 年度～

歩いて楽しい
475
アクション
プラン



【連携】米子市PT



ビジョン策定



通称…妄想会議

歩いて楽しいまちづくり
推進に向けた意見交換会

とりまとめ報告
(四者連携会議
検討方針確認)

R5上半期 12/7
1/25
3/6

R6.3 R6.4
～5

すぐやる系 R6.3～万博時期を目指して
じっくり系 R6.5～ビジョン策定、エリア
プラットホーム構築を
目指して



5月 12月

概略 → 具体化 → 官民連携まちなか再生推進事業

未来マップ：歩いて楽しいまちの未来のイメージ（意見交換会の成果）

米子駅周辺未来ビジョン

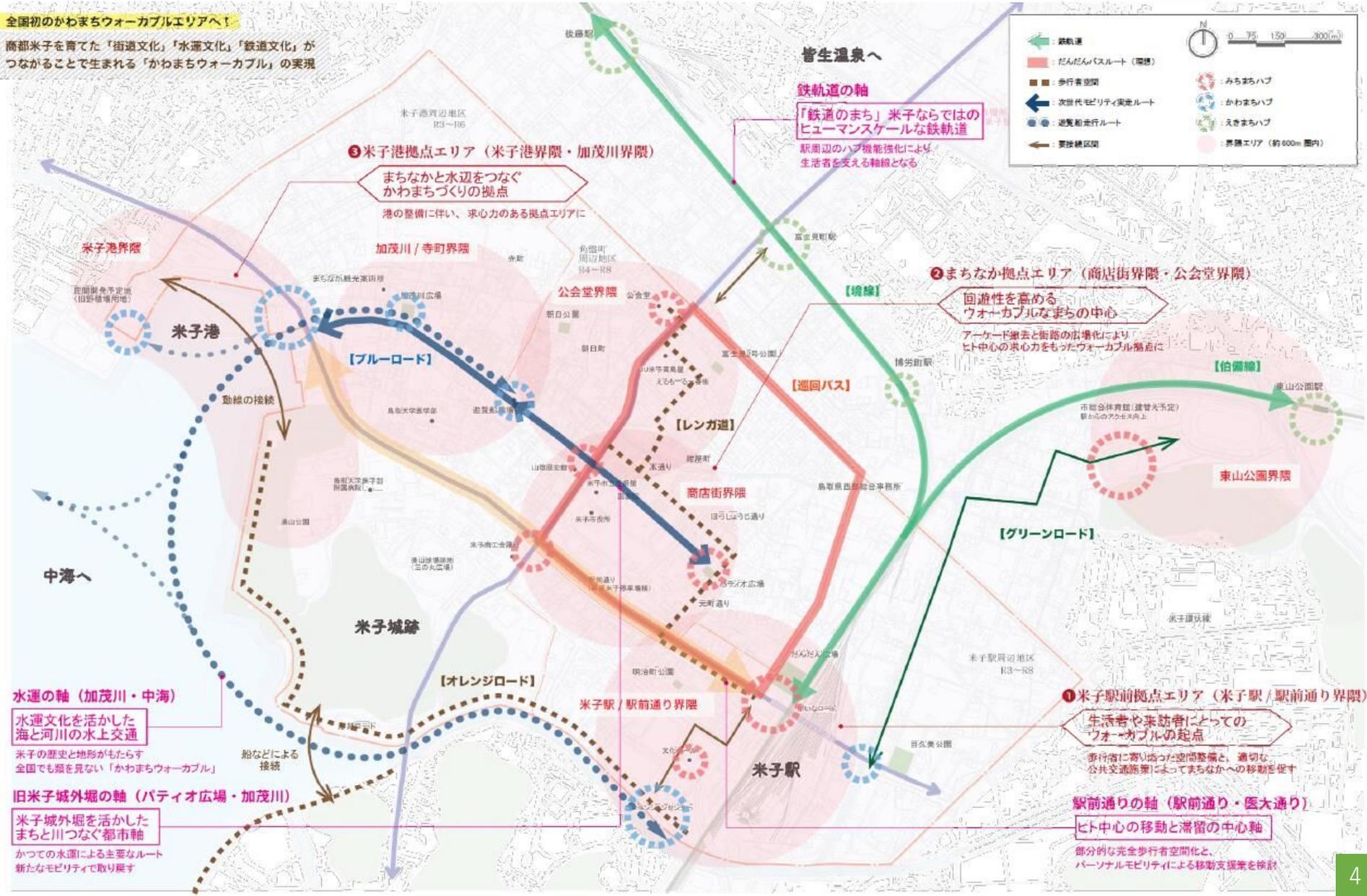
米子駅周辺エリアにおけるまちづくり支援方策検討業務

株式会社 設計領域

“こうなればいいな”

全国初のかわまちウォーカブルエリアへ！

商部米子を育てた「街道文化」「水運文化」「鉄道文化」が
つながることで生まれる「かわまちウォーカブル」の実現



鉄軌道

だんだんバスルート (環線)

歩行者空間

次世代モビリティ実装ルート

遊覧船実行ルート

要接続区間

みちまちハブ

かわまちハブ

えきまちハブ

界隈エリア (約600m 圏内)

③ 米子港拠点エリア (米子港界隈・加茂川界隈)

まちなかと水辺をつなぐ
かわまちづくりの拠点
港の整備に伴い、求心力のある拠点エリアに

鉄道の軸
「鉄道のまち」米子ならではの
ヒューマンスケールな鉄軌道
駅周辺のハブ機能強化により
生活者を受入れる軸線となる

② まちなか拠点エリア (商店街界隈・公会堂界隈)

回遊性を高める
ウォーカブルなまちの中心
アーケード継ぎと街路の広場化により
ヒト中心の求心力をもったウォーカブル拠点に

水運の軸 (加茂川・中海)

水運文化を活かした
海と河川の水上交通
米子の歴史と地形がもたらす
全国でも類を見ない「かわまちウォーカブル」

旧米子城外堀の軸 (パティオ広場・加茂川)

米子城外堀を活かした
まちと川つなぐ都市軸
かつての水運による主要なルート
新たなモビリティで取り戻す

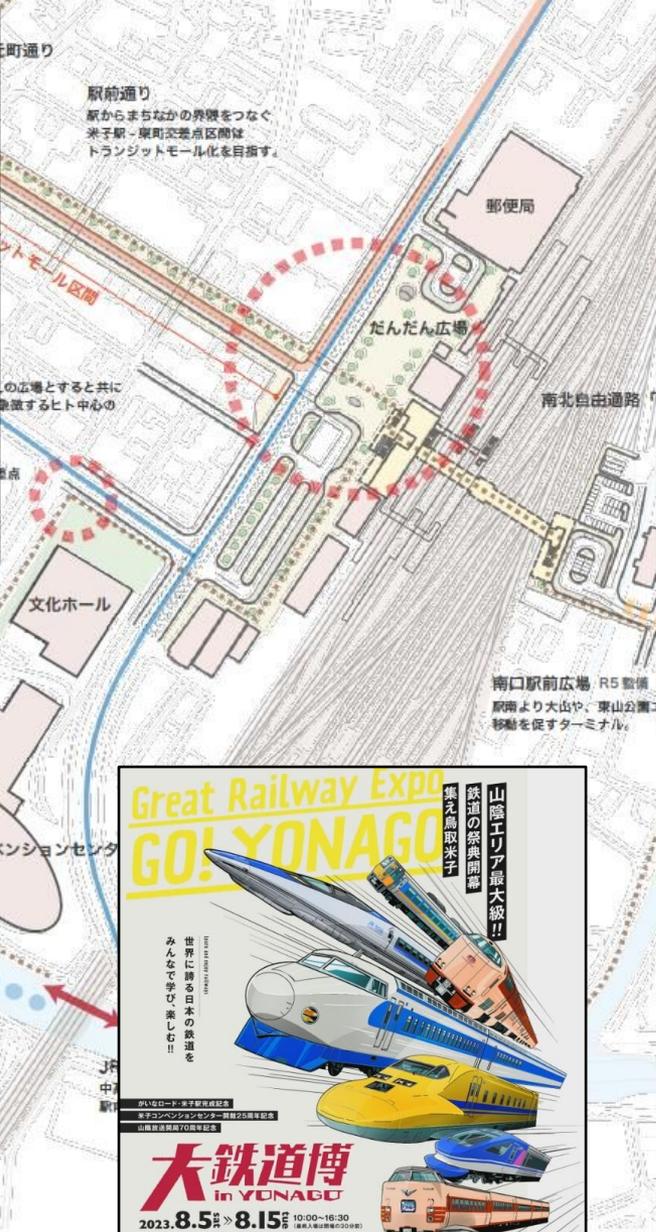
① 米子駅前拠点エリア (米子駅 / 駅前通り界隈)

生活者や来訪者にとっての
ウォーカブルの起点
歩行者に寄り添った空間整備と、適切な
公共交通施策によってまちなかへの移動を促す

駅前通りの軸 (駅前通り・医大通り)

ヒト中心の移動と滞留の中心軸
部分的な完全歩行者空間化と、
パーソナルモビリティによる移動支援策を検討

歩いて楽しい駅周辺×tabiwa×観光=?アクション (検討会議でUR例示)



JR西日本は、「山陰のんびりバス」を発売。観光ナビ「tabiwa by WESTER」上で購入可能なデジタルチケットで、山陰本線東浜～益田間、因美線鳥取～那岐間、伯耆線伯耆大山～上石見間、境線米子～境港間、木次線宍道～油木間、山口線益田～津和野間の普通列車普通車自由席が、3日間乗り放題。発売額は、大人4,500円、子ども2,200円。発売期間は、2024年2月15日(木)～2025年3月31日(月)で、利用期間は4月2日(水)まで。

駅前拠点の考え方
来訪者や市民にとってのお迎えの空間として、日常の居場所となると共に、「歩いて楽しいまち」を象徴するエリアとして、ヒト中心の駅前広場及び駅前通りとする。
歩行者中心の空間が連続することでコンベンション、文化ホールやまちなかエリアへの人流を促す。コンベンション側の水辺には市民の憩いの場所となる親水空間を設け、「オレンジロード」「ブルーロード」を介して米子港エリアまでつなぐ。
駅南・日久美公園側は東山公園に向かう陸の動線として川沿いを「グリーンロード」として位置付け、歩行者に優しいプロムナード整備を目指す。

想像する未来の日常とアクション候補

① まちかどにコンテンツ

クイズ・スタンプラリー・音楽発表・似顔絵など

② ゆるやかな駅前～角盤町往来

駅前～角盤町のゆるやかな往来の可能性検証、ルートの可視化（オーニング等）

③ 夕暮れのまちに若者が佇む

夕暮れに佇む場所の創出と投票&アンケート

④ 夜の朝日町ほこてん

米子バル時、ほこてん実証実験

⑤ 鉄道が子育ての日常にある

フェスタ会場～米子駅～ミニサンライズ（目久美公園）～法勝寺電車（パティオ広場）まちなか滞在の可能性検証、ルートの可視化（オーニング等）

⑥ 週末の風景・米子駅マルシェ

駅前通りキッチンカー、駅南・がいなロード等でマルシェ、滞在空間作り
駅前通りにパーティーバイクを設置&屋台利用、オープンデパート米子出店、滞留空間作り

⑦ スマホが歴史の案内役

QRコード、アプリ活用したマップ

⑧ 地ビールフェスタで回遊

11/10同時開始で駅前から地ビール会場までスタンプラリー

⑨ 自転車がまちなか移動の主役

観光協会のレンタサイクルを借上げ仮想シェアサイクル。駅前・商工会議所・加茂川発着場・公会堂等に無料貸出ポート設置

⑩ 加茂川中海遊覧船が近道

昨年度同様、コンベンションセンター横から加茂川発着場へ自前運行

- 第3回検討会議で実行アクションの絞り込み、具体化
- 歩いて楽しい米子 想像する未来の日常風景実証、地域経済への波及可能性なども検証したい

全2回!!

歩いて楽しいまちづくりワークショップ

ウォーカブルなまち米子の再発見
歩いて楽しい実感マップを作成しよう

ウォーカブルなまち米子を発見
R6年 1月24日(水) 18:00~20:00
会場: 米子コンベンションセンター 第2会議室

ウォーカブルなまち米子を妄想
R6年 2月6日(火) 18:00~20:00
会場: 米子市役所本庁舎4階 401会議室

ファシリテーター
山下裕子氏
ひと・ネットワーククリエイター/広場ニスト
2007年よりブランドプラザ運営事務局勤務。2009年(財)2011年よりNPO法人GPネットワーク理事長。2013年より安来市まちづくり推進委員会理事。2014年より、まちなか広場研究会の運営で個人活動開始。様々な地域のまちづくりに関与し、現在は「にぎわいの場 富山ブランドプラザ」(株主 100%の公益財団のつくり手)「守書堂新社」、『まきたる道(まちづくり)』(共著 編集出版会)、『コンパクトシティのアービズム』(共著・東京大学出版会)、2018年より宮城県東エリア経営実行委員会アドバイザー

お問い合わせにAIがお答えします

問合せ: 米子市 総合政策部 都市創造課
電話 | 0859-23-5353 FAX | 0859-23-5392 メール | toshisouzou@city.yonago.lg.jp

YONAGO

まちなかハイスクール

米子市の全ての高校の
米子市について みんなで考えて
まちで **アクション** を起こそう!

1/20 (土)
日時: 令和6年1月20日(土) 9:30-16:30
場所: 米子市文化ホール・展示室
※参加費無料

3/未定

米子市が進める「歩いて楽しいまちづくり」の取組です。

- 今年4月から有志参加「ろじまち座談会」に継承
- 歩いて楽しい小さなアクションを検討(7/27試行)

- 今年度も米子市主催で実施中
- 歩いて楽しい小さなアクションを検討(7/27試行)

【短期的アクション】

歩いて楽しいまち・米子の未来風景を議論して まず小さくアクション。
イベントチャンスには大きくアクション。

- ・7/27 ろじまち座談会 （案）実感！歩いて楽しい米子のアクション
私が探したレア大山 フォトコンテスト

米子まちなかハイスクール アクション計画中

- ・11/10 米子公共交通ふれあいフェスタ 同日アクション
駅前通り周辺公共空間利活用実証実験、
検討会議アクション、ろじまち座談会アクション、米子まちなかハイスクールアクション

to be continue

【中長期的アクション】

小さなアクション、大きなアクションを繰り返しながら、将来ありたい姿を具体化



- ・未来のイメージの共有
- ・検討・推進体制を構築、ロードマップ、アクションプラン
- ・ウォーカブル施策と連動させて強く推進
- ・地域経済に波及する歩いて楽しいまち米子の実現